

緑地・環境デザイン学特論演習 (2単位)

担当者氏名 金子忠一・小林 章・山崎元也・阿部伸太・荒井 歩・國井洋一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

緑地・環境のデザインは、身の周りの空間から国土空間にわたる多様な空間を対象としている。持続可能な環境を計画的に保全・創造するための、自然、文化、景観、エンジニアなどの多面的な観点から、自然と人間の共生する環境デザインの理論と技術の実際について演習を通じて修得する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域環境	景観形成	公園・緑地	デザイン
自然・緑	評価手法	エンジニアリング	施設設計

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習 (予習復習) 等の内容と分量
1	課題の発見と現状認識①	「私の景観デザイン」をテーマとして、課題の認識から課題解決のための具体的な提案までの演習課題を通して、緑地・環境デザイン創成のためのデザインならびにエンジニアリングの理論と技術を修得する。 現状認識のための特徴把握 評価手法 課題認識と提案方針 提案コンセプト 提案書 プレゼンテーションと評価 評価改善の視点の把握 第一次改善案の提示 第二次改善案の発表 最終プレゼンテーション	毎回、各自が対象とする空間のプロポーザルプレゼンテーションを行う。 具体的な内容については、第一回ガイダンスに説明する。
2	課題の発見と現状認識②		
3	課題の発見と現状認識③		
4	課題の発見と現状認識④		
5	課題の発見と現状認識⑤		
6	課題解決のための提案①		
7	課題解決のための提案②		
8	課題解決のための提案③		
9	課題解決のための提案④		
10	課題解決のための提案⑤		
11	課題解決のための提案⑥		
12	提案の評価と改善①		
13	提案の評価と改善②		
14	提案の評価と改善③		
15	提案の評価と改善④		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

演習課題への取り組みならびに成果品を評価する

◆オフィスアワー: 水曜日 10時～12時 (阿部) その他の教員については、造園科学科の担当科目を参照

◆その他受講上の注意事項

具体的な空間デザインを行っていく演習となる。図面、模型等造形力を鍛えることを心がけ、各自がこれまでに習得したテクニックを最大限に発揮するとともに、新たな表現方法に挑戦する姿勢が求められる。